



11月号

ふじいでら 市議会だより

編集・発行／藤井寺市議会
☎939・1208
藤井寺市岡1-1-1

令和元年第2回定例市議会の概要

令和元年第2回定例会は9月4日から9月27日までの24日間の会期で開催され、市長から提出された平成30年度決算認定、令和元年度補正予算、条例案件、報告案件など30案件について、委員会・本会議を通じて慎重に審議した結果、継続審査（第3回定例会まで）に付した8会計決算を除く22議案を議決し閉会しました。

議会を傍聴してみませんか

本会議の傍聴席は30席で、先着順で傍聴できます。
1階ロビーや8階傍聴室前ロビーでモニター放映しています。

なお、傍聴希望者が定員を超えようときは、傍聴券を発行する場合があります。

○委員会も傍聴できます

傍聴席は12席で、先着順で傍聴できます。

傍聴を希望される方は、日程を市ホームページ又は議会事務局でご確認の上、お越しください。

※傍聴人の守るべき注意事項がありますので、係員の指示に従ってください。

※議場又は委員会室へお越しの際は、庁舎東側のエレベーターで8階にお上がりください。

一般質問



公明党
代表質問

伊藤 政一

1 世界遺産登録後の状況について

質問 本市の来訪者の状況について

質問 世界遺産登録後の来訪者数の推移をお聞かせください。

答弁 来訪者は劇的には増えていませんが、秋頃から増えるものと予測しています。

質問 本市への来訪にむけた取り組みをお聞かせください。

答弁 ユーチューブを活用したPRや各種イベントを継続的に実施します。

質問 以前より要請しています西名阪高架下の古墳周辺のトイレ設置の進捗状況についてお聞かせください。

答弁 ネクスコ西日本より、大規模工事の施行があるため令和5年以降になるとのことです。

要望 トイレは来訪者にとって大切な施設です。ネクスコ西日本に一日でも早い実現を継続して訴えていただく事を要望いたします。

質問 世界遺産登録後のマスコミの取り上げ状況をお聞かせください。

答弁 民放の複数の番組やNHK、4大紙などに取り上げられました。

質問 世界遺産登録を契機とした将来展望について、お聞かせください。

答弁 世界遺産として守ることと同時に、まちづくりの新たな可能性が広がるものと考えております。

要望 これらの取り組みが、一過性にならないよう要望します。

質問 状況をお聞かせください。

答弁 3年前より相互乗り捨て可能とする「もずふるレンタサイクル」を実施しています。

質問 現在、レンタサイクルの台数をお聞かせください。

答弁 土師ノ里駅前駐輪場に電動サイクルが5台あります。

質問 古墳の案内表記について

質問 世界遺産の表記状況についてお聞かせください。

答弁 現在電柱への案内サインを取り付けている状況です。

要望 ルート整備や色舗装など分かりやすくしてください。

2 安全安心のまちづくり

質問 市立幼稚園統合によって廃園となる幼稚園の跡地利用についてお聞かせください。

答弁 現在、庁内協議を進めています。今後跡地利用について検討を進めてまいります。

質問 藤井寺西幼稚園の跡地の公園化は可能でしょうか。

答弁 藤井寺西幼稚園の敷地は、国史跡指定地範囲でもあります。公園施設については困難であると判断しております。

要望 子どもたちが安心して遊べる公園を増やしてください。

3 図書館について

質問 図書館の利用者についてお聞かせください。

答弁 近年では大きな変動はありません。

質問 新たなサービスがあればお聞かせください。

答弁 イオンの返却ポストの新設等新たなサービスにより、利用人数の増加に繋がっていきます。

質問 本の入れ替えについて

質問 本の入れ替えに気づかないとの声がありますが、その要因をお聞かせください。

答弁 各コーナーへと分散、配架するため、ご希望の本が刷新されていないと感じられたかと考えられます。今後もニーズに応じた本を手にとっていただくよう努めてまいります。

質問 書籍消毒機について

質問 図書館の本の衛生面について、本の消毒機を設置できないかお聞かせください。

答弁 図書館は公共施設再編基本計画による検討のため今後の課題とさせていただきます。

要望 図書館の建て替えの際には、導入の検討を要望します。

1 本市の教育環境の充実について

質問 第三中学校、道明寺東小学校のトイレ洋式化について

質問 第三中学校、道明寺東小学校のトイレ洋式化について今後の工事の予定をお聞かせください。

答弁 学校教育活動に支障のないよう夏休みを中心に令和2年、令和3年で行う予定です。

要望 藤井寺南小学校、道明寺南小学校、道明寺中学校についてもトイレ洋式化の改修計画を具体的に実行し明るく清潔感のあるトイレを作ってください。

質問 放課後児童会の充実について

質問 放課後児童会の教室を訪問し指導員の皆さんが困っている事を色々聞かせていただきます。

質問 教室の児童の人数が多すぎる、指導員の数を増やしてほしいとの声が一番にあげられました。児童達を迎えるための準備から始まり、児童たちが戻ってくる、帰宅時間の確認やトイレへの付き添いなど本当にフル回転で動かれています。明らかに指導員の人数が足りていないと感じましたが現在指導員の人数はどのくらいいるのでしょうか。

答弁 各学級に運営基準条例に合致する2人以上の指導員を配置しております。

質問 基準に合致していても現状は大変です。指導員は今の状況では子どもの安全を守るのが精一杯で一人ひとりとも関わってあげたいと高い意識を持たれています。指導員配置の充実についてはいかがでしょうか。

答弁 運営基準条例の規定を基本とし必要に応じて加配的な配置を行っています。また募集に対する応募が非常に少ない現状であります。指導員配置の充実のためにも指導員確保を進めてまいりたいと考えています。

要望 他市も参考にしながら指導員の賃金の見直し、賃金アップで人員不足を早急に解消し待機児童の解消のための教室確保と緊急事態に対応するため今後の需要の高まりを考えると放課

後児童会議を作るなど所管部署の見直しと充実を図っていた。く事を強く要望します。

「子育てするなら藤井寺といわれるまちを実現」との市長の所信表明の言葉通り放課後児童会の運営を充実させる事で多くの子育て世代に安心を与える事ができます。子育て世代を強力に支援していく事は少子高齢化が進むまちの活力を維持するものと確信しますのでよろしくお願ひします。

2 ICTの活用について

(1)本市のペーパーレス化の現状

質問 ICT(情報通信技術)の進歩によりコスト削減にも大きな効果が期待できる本市のペーパーレス化の現状についてお聞かせください。

答弁 市内の3つのネットワーク上で各部署間や職員間の情報共有を行い、一部ではタブレット端末を導入し会議を行うなどペーパーレス化を図っています。

(2)本市のペーパーレス化の今後について

質問 今後の方針や考えについて教えてください。

答弁 省資源化・省コスト化によるメリット、業務の効率化・省力化の側面からも重要な課題であると認識しています。しか

しながら電子化の推進には一定のコストも必要です。可能な限り紙媒体で打ち出さず管理・利用ができるような環境を整えてまいります。



大阪維新の会
代表質問



生田 達也

1 市政運営について

(1)職員の応対について

質問 お客様第一主義の精神で、丁寧な市民応対に取り組むための、接遇向上計画を伺います。

答弁 接遇研修等を予定しています。市長も若手職員全員と懇談を行い、考えを伝えました。

要望

ご利用の市民皆様への挨拶の徹底実施を要望します。

(2)効率化について

質問 財政の硬直化、借金の増大、将来の収支不安、公共施設再編の問題等、改善されています。行政側の認識を伺います。

答弁 財政状況は未だ改善されておらず健全ではございません。

質問

民間委託他、官民連携事業等、計画内容を伺います。

答弁 図書館、スポーツ施設等、様々な案を検討しております。

質問 組織のスリム化に向けたRPA(ロボット)が代行・自動化)等の導入計画を伺います。

答弁 多くの自治体が導入しております。本市も検討します。

質問

頑張る職員を応援する人事評価システム改革について市長の考えを伺います。

答弁 職員が発揮した能力と業績が、公平かつ納得性ある評価になるシステムを検討します。

要望

接遇・財政・人事制度の改革と、先進情報通信技術チームづくりを要望します。

2 災害時支援対策について

(1)避難行動要支援者支援制度の取り組みについて

質問 この支援を行うのは、どのような方々なのか伺います。

答弁 自治会が中心となり、地域の自主防災組織、民生委員、児童委員、福祉委員等の各種団体にも対応いただいております。

質問

この制度に登録できる対象者の要件を伺います。

答弁 要介護3から5の認定を受けている方、身体障害者手帳の総合等級が1・2級の方で第1種に該当される方、療育手帳Aに該当される方、精神障害者保健福祉手帳1級に該当される方、他に生活の基盤が市内の自宅にあり、災害時の避難行動に

不安がある方が対象者です。

質問 この制度の登録名簿数、保管方法も伺います。

答弁 現在、2540人の登録があり、福祉総務課、高齢介護課、危機管理室、柏原羽曳野藤井寺消防組合、藤井寺市社会福祉協議会で保管しています。

要望

自治会や防災関係機関等と連携・充実を図り、的確かつ迅速な支援体制を要望します。

3 観光対策について

(1)世界文化遺産に関して

質問 来訪手段の基本的考え、進めている対策を伺います。

答弁 公共交通機関での来訪を推進します。道明寺で大型バスの駐車場準備も進めています。

要望

バス駐車場の物販施設の併設、古墳見学メインルートの整備・命名、近鉄沿線近隣地区と連携による観光パッケージ化、修学旅行誘致を要望します。



大阪維新の会
個人質問
松本 洋介

1 本市職員の人件費について

(1)本市職員の現状と今後について

質問 本市職員の人員費と推移や対策をお聞かせください。

答弁 平成30年度では総人件費

は44億3400万円となり今後の推移としては、会計年度任用職員制度に伴い、1億円から1億5000万円の増額が想定されます。対策としては情報通信技術の活用や適材適所への人員配置・組織のスリム化が必要と考えています。

質問 この5年間で人件費は増加しております。今までと同じ対策では変化は期待できません。給与制度や人事制度の見直しなど抜本的な見直しが必要ですか。何か検討されていますか。

答弁 給与制度については特に検討はしていません。人件費抑制に向け、これまでの取り組みを積み重ねてまいります。

要望

本市は家計に例えると給料だけでは賄えず、貯蓄を切り崩している状況です。次世代のためにも、迅速に人件費抑制に向け、給与制度や人事評価制度などを見直してください。

(2)人事院勧告制度について

質問 令和元年度の人事院勧告についてお聞かせください。

答弁 令和元年度は初任給・若年層の俸給月額を中心に平均0・1%、再任用をのぞく全職員の賞与を0・05か月分の引き上げを行う内容です。

質問

その内容を実施しますか。

答弁 国に準拠して進めていく

べきであると考えております。
要望 実施するか否かは市で判断するものです。本市の財政状況を熟考して判断してください。

2 本市中学校教育について

質問 本市各中学校のICT（情報通信技術）環境の状況についてお聞かせください。

答弁 平成29年から各教室で単

焦点プロジェクトを使用し、各教員より評価を得ています。

要望 授業の質の向上や現場教員の効率化や子ども達との時間を増やすために、デジタル教材などの購入も必要と考えます。本市中学校の学力は近年低水準で、競争社会に大きく出遅れています。子ども達は本市の財産です。現状を打破するために、現場教員の声や子どもたちへの還元が高い内容のデジタル教材などの購入を検討し、環境整備に努めてください。



大阪維新の会
個人質問
河井 計実

1 大和川の北側地域などの不便解消について

質問 川北地区の不便解消、にぎわい創出についてどのようにお考えですか。

答弁 住民のご意見をお聞きし

官民一体となつて、活性化に取り組んでいくことが重要だと考えております。

要望 川北分園跡地に支所機能設置を要望いたします。

2 都市計画道路 八尾富田線の進捗状況について

質問 進捗状況、市の役割住民への配慮についてお聞きします。

答弁 用地測量と道路予備設計を実施しており、説明の機会を設定するなど地区と調整を行いながら進めていくと聞いています。

要望 併せて地下鉄延伸計画も要望いたします。

3 動物愛護について

質問 動物虐待の対策をお伺いいたします。

答弁 動物虐待は犯罪であるというのを市民の皆様にご啓発してまいります。

質問 野良猫対策への取り組みをお伺いします。

答弁 どうぶつ基金が発行する野良猫の不妊・去勢手術の無料チケットを活用しております。

質問 殺処分ゼロを目指した取り組みをお伺いします。

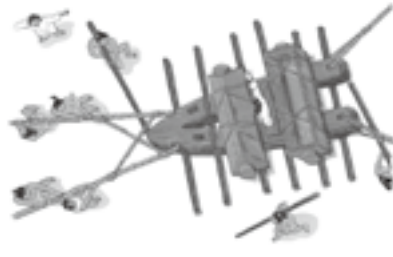
答弁 地域猫活動が何より効果的であるので、より多くのボランティアの皆様がこの活動に参加いただけるよう、取り組んで

います。

質問 動物愛護週間の取り組みをお伺いします。

答弁 動物愛護推進員を担える人材の確保にもつながら、動物愛護への理解や関心を高めるよう取り組んでおります。

要望 動物愛護への関心を高めていただくためにも、殺処分ゼロを積極的に発信していくことを要望いたします。



政新クラブ
代表質問
麻野 真吾

1 令和元年度学力・学習状況調査について

(1)結果と分析について
質問 令和元年度の全国学力・学習状況調査の結果、分析状況についてお聞かせください。

答弁 小学校では大阪府平均正答率を上回る結果となったものの、中学校では下回る結果となりました。記述式問題の正答率は依然低く、自分の考えを書いたり、伝えたりする活動を効果的に取り入れ、アウトプットできる経験を積み重ねることが大切であると考えています。

質問 他市では国の「子育て支援交付金」を活用した調査を実施していると聞いています。子ども一人ひとりの課題に合わせて、今後の学力向上にどう取り組むのかお聞かせください。

答弁 学習状況を経年的に見取ることができ、「市独自の学力や生活習慣の調査」を定期的に行うことを今後検討してまいります。調査結果を用いて学校と保護者が課題を共有し、課題に応じて個別学習や家庭学習の機会を持つことができるのではないかと考えております。

2 マニフェストの実行について

(1)優先順位づけについて

質問 任期4年間で前期2年、後期2年で考えた場合、前期に重点的に取り組まれる項目についてお聞かせください。

答弁 情報発信、市役所組織の見直し、公共施設の最適化・老朽化対策、財政運営の健全化に取り組んでいきます。また、世界文化遺産登録による事業実施やイオンとの連携などによるまちの活性化を図っていききたいと

考えています。

質問 優先順位づけの考え方にについてお聞かせください。

答弁 子育て環境の充実や観光資源を活かしたまちのにぎわいづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

質問 教育施策や公共施設の複合化施策の当初予算化についてお聞かせください。

答弁 「マニフェスト実施項目ロードマップ」を作成し、優先順位を定め、必要な予算化を図ってまいります。

(2)令和2年度予算編成への反映について

質問 多額の予算を要する施策が含まれていますが、予算への反映方針についてお聞かせください。

答弁 施策を実現するための財源確保が必要であり、新しい予算編成手法の実施準備を進めてまいります。シーリング設定などを何らかの形で取り入れる必要があると認識しています。提案していただいている部予算の考え方については引き続き検討してまいります。

(3)機構、人員体制への反映について

質問 機構、人員体制のスリム化への考えについてお聞かせください。

答弁 今後の組織機構のあり方について、全庁的な意見集約を行っています。意見などを集約した上で、組織機構の整備や人員体制の適正配置を検討してまいりたいと考えています。また、必要に応じてプロジェクトチームや臨時的組織も有効的に活用してまいりたいと考えています。

3 まちのにぎわいつくりについて

(1)各種団体、商店との連携について

質問 商工会との連携状況や今後についてお聞かせください。

答弁 まちなかを巡る工夫や消費喚起の工夫が不可欠であり、商店街、商工会と連携を強めてまいりたいと考えています。

4 藤井寺市の未来を創るためのチームについて

(1)観光拠点化のためのチームについて

質問 シュラホールの展開についてプロジェクトチームが結成された目的、方向性についてお聞かせください。

答弁 「百舌鳥・古市古墳群」の周遊ルート上のシンボリック施設として、シュラホールの活用方策、課題とその解決策、整備

費、ロードマップの作成を検討してまいります。市長が指名する6人の職員とオブザーバーで構成し、中間報告を12月頃までに、3月末までに最終報告を目標に進めてまいります。

(2)チーム藤井寺について

質問 長期的に人員を入れ替えながら継続して藤井寺市の将来を考える政策集団として、チーム藤井寺の運用、活用が必要であると思いますが、お考えをお聞かせください。

答弁 具体的な提案などが各担当課や職員から、どんどん出てくることを望んでおります。8月に6年目までの職員が市長と市政に関する意見交換を行いました。今後も複数部課に関連する課題や特命の事項について必要に応じて検討チームを設けていきたいと考えています。

要望 当初予算編成への意気込みをお聞きしました。シーリング設定など相当の覚悟を持って臨んでいただけると期待をいたしました。特に平成30年度決算額をベースに予算編成を考えていただきますようお願いいたします。その上でマニフェストの推進実行ということになりません。観光で人を呼び込むことは否定しませんが、その先の定住人口の獲得という目標のための

ロードマップを明確に設定していただきたいと思えます。

教育施策についても、具体的な改善策については評価しますが、業者に丸投げし、形骸化することがないようにお願いいたします。予算編成時期を常に意識して前倒して検討を進めていただくことをお願いいたします。



日本共産党 代表質問 瀬川 寛

1 第5保育所の耐震化について市の現状認識を質す

質問 第5保育所は平成25年度の2次診断で要耐震とされ、平成28年度には公共施設再編基本計画と切り離して「耐震化を急ぐ」と決めながら、現在に至るまで耐震化の目途はたっていない。我が党はこの間、現地耐震化を求めてきました。平成31年3月議会では、耐震補強工事には柱脚部の全数調査が必要ですが、「全数調査を保育に支障なくできない」としてきた市の見解に根拠がないことも暴露しま

した。移転による耐震化の目途が立たない以上、現地耐震補強工事が最も安全です。市長は、選挙において、「この問題は白紙に戻す」としながら、令和元年6月議会では「安全対策を急ぐ」観点からシエルター設置を表明され、保護者への説明なしに現在に至っています。この現状を、市として、どのように認識していますか。

答弁 市長就任時にこれまでの経過や市の方針等、現状の説明を行い、シエルター設置について了承いただき、安全対策として準備を進めています。完成については、おおむね令和2年の夏頃を予定しています。第5保育所の耐震化につきましては、機能移転を図る方向性です。保護者の皆さまへの説明、議会への報告は行ってまいります。

2 子育て支援策の充実のために
要望 我が党は消費増税を財源とするには反対ですが、保育料無償化に際して、副食費（おかず代）も無償化の対象にする方向で今後、検討してください。これまで公定価格の4割にあたる市独自負担分が、国の無償化のための財源によって、逆に浮いてくるはずだからです。また子どもの貧困対策に本気で

取り組むために、藤井寺独自の子ども貧困実態調査を行うよう強く求めます。

3 本市の水道事業の大阪広域水道企業団との統合問題について市の立場を質す

質問 経営統合の場合、水道事業を成り立たせている財源内容に変化はありますか。

答弁 変化はありません。

質問 資産はどうなりますか。

答弁 負債もあわせて全てを企業団へ承継いたします。

質問 事業計画や水道料金改定はどこで決定されますか。

答弁 企業団ですが、事前に、市に意見聴取の機会をもつこととなっております。料金改定は、最終、企業団議会で決定されることとなります。

質問 統合に向けた検討コミュニケーションにおける必要人員を教えてください。

答弁 統合の場合も本市水道事業として続ける場合も26人で検討されています。そのうち、技術職員は、技術系土木職員13人、化学職2人、電気職1人、機械職1人の計17人を見込んでいます。

質問 現在の人員はどうなっていますか。

答弁 現役職員が、事務系4

人、技術系8人、技能職員3人の15人と、再任用職員6人の計21人となっています。

要望 市議会に報告された中間報告では、統合する場合でも大幅な料金値上げは避けられませんが、統合に伴う40年間の効果額19億7300万円で、16億8600万円が補助金によるもので、本来、国や府が必要な補助金をつければ、統合しなくてもできます。職員の技術的継承の問題も、「統合によってスリムにできる」ではなく、そもそも人員が足りていないのが現状です。水道事業の現状を市民に知らせ、市民的合意のもとで、判断すべきです。

答弁 買い物など公共施設に行く目的以外でも乗車させてほしいなどの声があります。

質問 公共施設循環バスの枠を超えた公共交通のあり方を検討するべきです。何か検討協議はされたのですか。

答弁 8月に庁内関係部局と公共施設循環バスの現状確認や市民ニーズ調査に向けての協議を始めたところです。

要望 市としてどのような公共交通にしていけるのか明確に示すべきです。庁内関係部局との連携にとまらず検討チームを立ち上げ、コミュニティバスを実現することを強く求めます。

質問 高齢者の外出機会の創出や健康増進、介護予防や地域経済の活性化、公共交通の利用促進を目的として市内のバスやタクシーの割引券の発行を行ってはいかがですか。

答弁 高齢化社会を見据えた公共交通のあり方を探るとともに、こういった制度の必要性についても議論してまいります。

質問 イオンの敷地西側に停留所を新たに設置し、午前便、午後便とも1回ずつの発着で北回り・南回りコースを合わせて計4回の運行をしかるべきタイミングで開始する予定です。

要望 イオンの行政施設を利用する方が増えて、区間によっては乗れなくなる可能性があります。対策を考えてください。

質問 市民からの、公共施設循環バスへの要望をお聞かせください。

答弁 買い物など公共施設に行く目的以外でも乗車させてほしいなどの声があります。

質問 公共施設循環バスの枠を超えた公共交通のあり方を検討するべきです。何か検討協議はされたのですか。

答弁 8月に庁内関係部局と公共施設循環バスの現状確認や市民ニーズ調査に向けての協議を始めたところです。

要望 市としてどのような公共交通にしていけるのか明確に示すべきです。庁内関係部局との連携にとまらず検討チームを立ち上げ、コミュニティバスを実現することを強く求めます。

質問 高齢者の外出機会の創出や健康増進、介護予防や地域経済の活性化、公共交通の利用促進を目的として市内のバスやタクシーの割引券の発行を行ってはいかがですか。

答弁 高齢化社会を見据えた公共交通のあり方を探るとともに、こういった制度の必要性についても議論してまいります。

質問 イオンの敷地西側に停留所を新たに設置し、午前便、午後便とも1回ずつの発着で北回り・南回りコースを合わせて計4回の運行をしかるべきタイミングで開始する予定です。



改革ふじいでら
代表質問
山本 忠司

1 学校教育の取り組みについて
(1)防災教育の充実について
ア 藤井寺ジュニア防災リーダーについて

質問 中学生を対象にジュニア防災リーダー育成事業を実施され、今回で8回目を迎えられましたが今後の事業展開をお聞かせください。

答弁 今後も地域防災の一員となれる基礎的な力が、身につくよう学習指導要領に則り、取り組んでいきます。

要望 受講した子ども達が経験を生かし学んだ力を発揮できる場所や機会を関係部署と連携を図り、より一層広めていただくことを要望します。

(2)世界遺産学習の充実について
質問 令和元年7月に百舌鳥・古市古墳群が世界文化遺産に登録されました。これを受け世界遺産学習をどのように発展させて行くのかお聞かせください。

答弁 令和元年7月に百舌鳥・古市古墳群が世界文化遺産に登録されました。これを受け世界遺産学習をどのように発展させて行くのかお聞かせください。

答弁 幼児や低学年の児童でも世界遺産の重要性を理解できるように、また中学校においても世界遺産を意識できる取り組みができるよう努めていきます。

要望 発達段階に合わせた工夫を行い子ども達が更に古墳に触れ知る機会や学ぶ機会を増やしていただくことを要望します。

(3)道徳教育の取り組みについて
質問 道徳が教科化されたことで、児童生徒の指導にどのように役立っているのかお聞かせください。

答弁 道徳教育全体を通じて豊かな人間性を育み、互いに認め合う心情を持つことで、結果としていじめ防止にもつながるものと考えております。

要望 道徳教育を通じて、いじめ問題など、子ども達に様々な内容について考えさせ、質の高い道徳の授業を要望します。

2 高齢者ドライバーの運転免許証自主返納について
質問 運転免許証を自主返納された方に対しての、市独自の取り組みについてお聞かせください。

答弁 関係部局と連携しながら他市の事例などの情報収集や調査研究に努め、施策を探ってまいります。

要望 運転免許証を自主返納された方は、車のかわりとなる移動手段が必要となります。そこで、今後は循環バスの利用など市独自の支援事業を考えていただくことを要望します。

3 実効性のある市民協働について

(1)若い世代の市民参画について
質問 若い世代が持っておられる情報発信力や発想力などを、積極的に市政に取り入れていくことが活気あるまちづくりに必要ではないかと思えます。そこで、市長のお考えをお聞かせください。

答弁 全職員が一丸となり、熱意ある若手職員を育て、新しい発想を取り入れた風通しの良い市政運営に取り組んでまいります。

要望 若い市民の力や若い職員の持てる能力を最大限に活かせる体制づくりに積極的に取り組んでいただくことを要望します。

1 公共施設等の予約システムについて
(1)スポーツ施設について
質問 スポーツ施設のネット予約導入後の状況についてお聞か



改革ふじいでら
個人質問
畑 謙太郎

1 公共施設等の予約システムについて
(1)スポーツ施設について
質問 スポーツ施設のネット予約導入後の状況についてお聞か

せうください。

答弁 大きなトラブルもなく利便性の向上が図られています。

(2)文化施策について

質問 文化施設のネット予約への取り組みをお聞かせください。

答弁 来年4月を目途に導入に向けた準備を進めています。

(3)各種相談について

質問 各種相談事業のネット予約への取り組みについてお聞かせください。

答弁 全庁的に足並みをそろえて検討するまでには至っておりません。

質問 無料法律相談は予約が必要でかなりの申し込みがあると聞いておりますがその状況をお聞かせください。

答弁 先着順による予約制で相談内容をお聞きし情報提供などきめ細やかな対応に努めています。

質問 ネット予約が相談事業にそぐわないのなら予約状況を市のホームページに掲載してはどうでしょうか。

答弁 予約の空き状況をホームページに掲載しサービス改善に取り組みます。

質問 市のホームページにおけるネット予約の入り口部分が非常にわかりづらい。改善についてはどのようなものですか。

答弁 可能なところから必要な

改善に取り組んでいきます。

要望 ネットを活用した予約システム・情報提供の構築を要望します。

2 ご当地ナンバープレートについて

(1)本市の取り組みについて

質問 以前にも質問しましたが世界文化遺産のまちになり取り組むべき事業と思うが検討をお聞かせください。

答弁 具体化に向けて進めてまいります。

要望 是非ともこのタイミングで実施していただくよう要望します。



改革ふじいでら
個人質問
國下 尊央

1 妊婦への支援施策について

質問 本市において妊娠期の妊婦さんに対しどのような支援・施策を実施しておられますか。

答弁 妊娠された場合は、市の窓口にて妊娠届出書を提出していただきます。その際、母子健康手帳の交付、健康診査の助成が受けられる妊婦健康診査、妊婦歯科健康診査と乳児一般健康診査の受診券をお渡しして

います。妊婦対象事業といたしまし

て「マタニティ教室」、「産前産後サポート事業」があります。

質問 「妊婦健康診査」についてお伺いいたします。

答弁 妊婦健康診査受診券で最大で14回受診でき金額は、総額11万6840円です。また、双子などの多胎児を妊娠された方には5回追加してお渡ししています。

質問 妊婦さんへの指導などが、医療機関から市に対して依頼されるケースというのはあるのでしょうか。

答弁 医療機関が、養育支援を特に必要と認めた場合に、市の母子保健担当に連絡を行うという大阪府の情報提供制度が設けられています。この制度により医療機関と大阪府及び市町村の保健部門が連携を図り、要養育支援者を早急に把握し、継続的なサポートを行っています。

質問 昨年より実施された「妊婦歯科健康診査」についてお尋ねします。

答弁 平成30年度の対象者は455人で、受診者数は152人、受診率は33.4%です。平成29年度の近隣市の平均受診率は16.1%と比べても高い受診率です。

要望 今後とも、妊婦さん一人ひとりに寄り添った事業を展開していただくようお願いいたします。またホームページでも事業の趣旨をわかりやすくするなど工夫をしていただくように要望します。



会派に属さない議員
個人質問
花崎 由貴子

1 子育て環境を整えることについて

質問 不足を補うために長期休暇中に学生アルバイトを雇うことはいかがですか。

答弁 学生アルバイトへの配慮や人件費の増加など、協議・調整が必要です。

質問 各学級にリーダー的役割を担う方が必要ではありませんか。

答弁 指導員と支援者と分けて配置していますが、更に充実した体制づくりに努めてまいります。
質問 地域の方々を募集することはいかがですか。

答弁 地域の協力を得られるように前向きに検討いたします。

(2)教室の確保について

質問 藤井寺西幼稚園を活用することはできませんか。

答弁 園舎が国指定史跡に含まれ、耐震工事が行えず、活用することはできません。

(3)運営体制について

質問 事務局体制を拡充することとは必要ではありませんか。

答弁 各指導員と連携を密にし即応に努めてまいります。

質問 所管課が月曜日は休日です。事務局体制の改善が必要ではありませんか。

答弁 事務局との連絡体制の強化に向けて検討いたします。

質問 所管する部署の独立と子育て支援関係部署を一本化することについてはいかがですか。

答弁 部署の一本化は組織機構にかかわり、関係課とも協議・研究を進めてまいります。

要望 問題意識を持たれているだけでは課題は解決しません。課題は多く努力も必要ですが、現状の改善に時間をかけている状況ではありません。安心して子育てができる実感を持てるよう、子育て支援を一括で協議・対応できる組織づくりを強く要望します。

令和元年第2回定例会議決結果一覧

議案番号・議案名	会派・議員名	ふじいでら 改革			公明党		維新の会 大阪		政新クラブ		日本共産党		無党派	結果	
		畑謙太郎	山本忠司	國下尊央	伊藤政一	片山敬子	玉田登美	生田達也	河井計実	松本洋介	麻野真吾	岡本光	瀬川覚		木下誇
議案第18号	藤井寺市消防団条例の一部改正について	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第19号	藤井寺市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	◇
議案第20号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	○	○	○	○			○	○	○	○	×	×	○	◇
議案第21号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備について	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	◇
議案第22号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	◇
議案第23号	藤井寺市印鑑条例の一部改正について	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	◇
議案第24号	藤井寺市立市民総合会館条例の一部改正について	○	○	○	○			○	○	○	○	×	×	○	◇
議案第25号	藤井寺市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	○	○	○	○			○	○	○	○	×	×	○	◇
議案第26号	藤井寺市水道事業給水条例の一部改正について	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	◇
議案第27号	藤井寺市立生涯学習センター条例の一部改正について	○	○	○	○			○	○	○	○	×	×	○	◇
議案第28号	藤井寺市立市民総合体育館条例の一部改正について	○	○	○	○			○	○	○	○	×	×	○	◇
議案第29号	藤井寺市立市民運動広場条例の一部改正について	○	○	○	○			○	○	○	○	×	×	○	◇
議案第30号	藤井寺市立テニスコート条例の一部改正について	○	○	○	○			○	○	○	○	×	×	○	◇
議案第31号	藤井寺市立市民水泳プール条例の一部改正について	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	◇
議案第32号	令和元年度藤井寺市一般会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○			○	×	×	×	○	○	○	◇
議案第33号	令和元年度藤井寺市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	◇
議案第34号	令和元年度藤井寺市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	◇
議案第35号	令和元年度藤井寺市公共下水道事業会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	◇

議長のため、採決不参加

※表の見方 「○」は賛成 「×」は反対

報告・継続審査案件

報告	報告第12号	平成30年度藤井寺市健全化判断比率の報告について
	報告第13号	平成30年度藤井寺市資金不足比率の報告について
	報告第14号	平成30年度藤井寺市一般会計予算継続費精算報告書の報告について
	報告第15号	平成30年度藤井寺市水道事業会計継続費精算報告書の報告について
継続審査	認定第1号	平成30年度藤井寺市一般会計歳入歳出決算認定について
	認定第2号	平成30年度藤井寺市駐車場特別会計歳入歳出決算認定について
	認定第3号	平成30年度藤井寺市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
	認定第4号	平成30年度藤井寺市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
	認定第5号	平成30年度藤井寺市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
	認定第6号	平成30年度藤井寺市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
	認定第7号	平成30年度藤井寺市病院事業特別会計決算認定について
	認定第8号	平成30年度藤井寺市水道事業会計決算認定について

藤井寺市議会日程 第3回定例会のお知らせ

【本会議】

11月29日(金) 議案説明 など
12月10日(火) 一般質問
12月11日(水) 一般質問
12月20日(金) 採決、委員長報告など

【委員会】

12月13日(金)
民生文教常任委員会
12月16日(月)
総務建設常任委員会

※各日10時から開催します。
※日程は変更する場合があります。